

平成27年度

予算書

平成27年3月27日

資料目次

1 平成27年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4-
3 事業計画書	
(1)平成27年度事業計画	-5・6・7・8・9-
(2)平成27年度「物品預託と払出」計画(案)	-10-
(3)平成27年度「ボランティア活動」計画(案)	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

平成27年度予算編成について

—はじめに—

熊本善意銀行は世の中を明るくし、生活にうるおいを与え、楽しく暮らせる社会をつくるため善意を預かる銀行を思い立ち、幸い各方面の賛同を得て設立されました。国の福祉制度は随分と充実されましたが、それでも制度ですくい取れない部分はまだまだたくさんあります。何より「人の役に立ちたい」と思いやる温かい心は到底、制度ではあがなえないものです。当行は人を想う気持ちをお預かりし、助けを必要としている方々へ善意の架け橋として活動しております。半世紀の間、運営できましたのも、ひとえに県内の会員社やボランティアの皆様の支援の賜物と、心から感謝申し上げます。

当行は平成27年度で公益社団法人となり4年目を迎えます。さらに「公益社団法人」としての自覚をもって社会福祉事業の充実・強化・拡充を図ります。

—概要と考え方—

日本経済はアベノミクスにより、株式や為替の好転がみられ、企業業績も回復基調にあるものの、消費者レベルの所得水準は依然として低迷しております。当行の平成26年度の受取寄付も個人の大口寄付の低迷で、厳しい経営状況にあります。このため、平成27年度は寄付文化を醸成するとともに、経常収益の改善を図っていきます。平成26年8月20日に広島市を襲った記録的な大雨による大規模な土砂災害に対し、熊本日新聞社とRKK熊本放送、熊本善意銀行は「広島土砂災害救援金」を募り、1,176件、総額1791万9704円の寄付金を広島市に贈りました。平成27年度も緊急時の対応が十分にできる計画とし、予算編成では公益法人に求められる収支相償、公益事業比率、遊休財産保有制限の「財務3基準」を遵守し、より一層の安定的な運営を目指します。

公益目的事業会計と法人会計を合算した総経常収益は23,605千円（前期25,275千円）で、前年度予算比93.4%と若干の寄付金収入減額の予算としました。また、総経常費用は24,794千円（同26,489千円）で、経費削減に努め前年度予算比93.6%としました。総当期経常増減額は▲1,189千円（同▲1,214千円）となりました。

熊本善意銀行は、温かい心をもって地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、以下のような法人会計と公益目的事業会計の予算といたしました。

《法人会計》

法人会計は、熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費をまかなう会計で、会員の皆さまからの会費収入に支えられております。しかし、収入の半分以上を公益目的事業に充てるため、経常収益予算は8,354千円（前期8,424千円）で前年度予算比99.2％としました。

管理費は、前期同様に費用を公益目的事業と法人事業に分配し、経費削減に努め支出合計は3,223千円（同3,821千円）で前年度比84.3％、当期経常増減額は5,131千円（同4,603千円）となりました。

《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は、善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計です。その収入は、広く県民から寄せられる“善意”の預託金です。これに会費収入の50％が加わり、27年度の経常収益は寄付文化醸成に努めますが、15,251千円（前期16,851千円）で前年度予算比90.5％の予算と致しました。

公益目的事業は、従来地域ボランティア活動支援や「小・中学校への車いす贈呈」、「100歳到達者の表彰」、そして全国でも例のない「青年海外協力隊員への郷土紙送付」などこれまで通り行っていきたいと思っております。さらに、障がい者福祉・児童福祉・老人福祉等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用し広く門戸を開いてケースに応じ、柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は21,571千円（同22,668千円）で前年度予算比95.2％、当期経常増減額は▲6,320千円（同▲5,817千円）となり収入を上回る払い出しとしました。

平成27年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位: 千円)

科 目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	16,700	16,840	-140	99.2
② 受取寄付金	6,900	8,430	-1,530	81.9
③ 雑収益	5	5	0	100.0
経常収益計	23,605	25,275	-1,670	93.4
(2) 経常費用				
事業費(公益)	21,571	22,668	-1,097	95.2
管理費(法人)	3,223	3,821	-598	84.3
経常費用計	24,794	26,489	-1,695	93.6
当期経常増減額	-1,189	-1,214	25	97.9
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-1,189	-1,214	25	97.9
一般正味財産期首残高	20,782	18,730	2,052	111.0
一般正味財産期末残高	19,593	17,516	2,077	111.9
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0		0	
当期指定正味財産増減額	0		0	
指定正味財産期首残高	0		0	
指定正味財産期末残高	0		0	
III 正味財産期末残高	19,593	17,516	2,077	111.9

※災害救援に関連する支出は、予算額を超えて執行することができる。

※一般正味財産期首残高の金額は予算策定時の推計値です。

平成27年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,350	8,350		16,700
受取会費	8,350	8,350		16,700
② 受取寄付金	6,900			6,900
受取寄付金	6,900			6,900
③ 雑収益	1	4		5
受取利息	1	4		5
経常収益計	15,251	8,354		23,605
(2) 経常費用				
事業費	21,571	0		21,571
役員報酬	299	0		299
給料手当	4,781	0		4,781
臨時雇用賃金	717	0		717
福利厚生費	95	0		95
旅費交通費	532	0		532
印刷製本費	448	0		448
通信運搬費	503	0		503
消耗品費	810	0		810
賃貸料	900	0		900
会費発行費	415	0		415
広告宣伝費	1,929	0		1,929
支払助成金	3,514	0		3,514
障害者福祉	400	0		400
児童福祉	1,744	0		1,744
災害見舞い助成	480	0		480
各種団体助成	890	0		890
チケット購入費	400	0		400
記念品購入費	2,244	0		2,244
新聞代・送料	1,327	0		1,327
車いす購入費	975	0		975
毛布購入費	678	0		678
減価償却費	740	0		740
雑費	264	0		264
管理費	0	3,223		3,223
役員報酬	0	61		61
給料手当	0	979		979
臨時雇用手当	0	147		147
福利厚生費	0	80		80
旅費交通費	0	409		409
印刷製本費	0	84		84
通信運搬費	0	103		103
消耗品費	0	86		86
賃貸料	0	185		185
会報発行費	0	85		85
広告宣伝費	0	315		315
減価償却費	0	90		90
雑費	0	599		599
経常費用計	21,571	3,223		24,794
当期経常増減額	-6,320	5,131		-1,189
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	-6,320	5,131		-1,189
一般正味財産期首残高	-	-		20,782
一般正味財産期末残高	-	-		19,593
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産期末残高	-	-		19,593

平成 27 年度事業計画

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

平成 27 年度は昨年度に比べ受取寄付金の減少が見込まれることから、経費削減に努めた事業計画としました。基本的な助成は例年通りの計画とし（１）障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成、（２）百歳を迎えたお年寄りや施設児童・交通遺児の進学・卒業祝い、学校への車いす寄贈などの物品助成、（３）登録ボランティア団体の活動の橋渡し、といった中核事業を引き続き推進していきます。寄付文化の醸成のため「善銀パートナー（仮称）」を創設し、サポート体制の推進・強化を図ります。

広報面では、事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

1、〔公益目的事業〕

地域社会が直面する問題の改善を目的として事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

「事業内容」	「備考」
助成事業：公 1 事業 ① 障がい者福祉助成（400 千円） ・九州身体障害者水泳選手権大会へ助成（熊本市で開催） ・県重症心身障害児（者）を守る会へ助成。 ・ダウン症児（者）の療育訓練へ助成。 ・脳性マヒ児の「心理療育キャンプ」などに助成。 ・上記以外に障がい者福祉関係のスポーツ・対外研修など ② 児童福祉助成（1,744 千円） ・グローバルジュニアドリーム事業（2 名分） ・ひとり親家庭の小学校入学祝に助成（20 名分） ・県母子寡婦福祉連合会「親と子の運動会」に助成。（725 名） ・児童福祉施設の夏季行事に助成。（17 施設）など ③ 災害見舞助成（480 千円） ・災害（火災・水害・地震等）に遭われた家族に見舞金を贈呈 ④ 各種団体の助成（890 千円） 熊本のいのちの電話、ボランティア団体の支援とその他申請のあった地域福祉団体へ助成。	H26 年度予算 に比べ減額 ひとり親家庭の入学祝 を減額 H26 年度実績 見込みと同額 H26 年度予算 に比べ減額

物品助成：公1事業 ① チケット等配布（400 千円） ・老人福祉施設、児童養護施設、身体障がい者支援施設などで日常生活をされている方々に、心のゆとりを持ってもらうことを願い、寄席や歌舞伎等の入場券を贈呈します。 ② 敬老の日「百歳到達者」に記念品贈呈：第35回（2,244 千円） ・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈り長寿をお祝いし、併せて千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈ります。 本年の対象者は約600名の見込み。記念品の配送は、熊日輸送センター・熊日販売センターの協力を得て敬老の日前後に自宅または老人施設などへ配ります。	利用調査により増額 H26年度予算とほぼ同額
郷土紙送料（1,327 千円）：公1事業 ・熊本県出身の青年海外協力隊員へ郷土紙送付。（約25名） 熊本県青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業指導や技術支援を行っている熊本県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を送ります。	青年海外協力隊の県出身の隊員増で増額
車いす贈呈（975 千円）：公1事業 ・近年、障がいを持つ子どもの中には、養護学校から居住地にある普通校への就学を希望する児童が増えていますが、車椅子配置には文部科学省の予算措置が少ないため当行に支援要請が寄せられています。また、障がいを持たない子どもの総合学習での車椅子体験にも使用されます。 ・贈呈式は、県内の申請地域に出向いて行います。	小・中校に約30台
毛布・タオル贈呈（678 千円）：公1事業 ・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈。 ・障がい者スポーツ大会の参加賞としてタオル約1,000枚を贈呈。	平成26年度予算とほぼ同額
広告宣伝（1,929 千円）：公1事業 ・市民、団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため善銀パートナー（仮称）を創設し、下記の媒体を使用し、活動内容を広く訴えます。 ・新聞広告の掲載、ラジオでの呼びかけ。 ・ホームページの充実、その他チラシなどの制作。 ・会報の発行。	平成26年度予算とほぼ同額

2、[会務の運営]

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

① 総会

- ・ 定時総会の開催は、6 月に開催。
- ・ 臨時総会の開催は、必要に応じて開催。

② 理事会

- ・ 定時理事会の開催は、4 カ月を超える間隔で 2 回以上開催。
- ・ 臨時理事会の開催は、定款 14 条のいずれかに該当する場合に開催。

③ 運営委員会

- ・ 運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年 6 回以上）。

④ 同種活動団体との連携

- ・ 全国善意銀行連絡協議会が行う総会や理事会に参加し、情報の共有や活動の参考にします。前年度熊本での開催予定だった総会は、富山善意銀行の希望で富山開催となり、本年秋に熊本で開催します。

3、[その他の事業]

① 善銀サポート体制の強化

- ・ 現在、109 正会員の方々が、善意銀行の趣旨に賛同し参加しておられます。この輪を広げ、もっときめ細かに熊本の社会貢献に寄与したい考えです。そこでサポーター制度を立ち上げ、寄付文化の醸成を図ります。ネーミングはシンプルで、誰にでもわかり、好感をもって受け入れられる名前（公社）熊本善意銀行 「善銀パートナー（仮称）」とし、コンセプトは「あなたの幸せは、私の幸せ。（Your happiness is my happiness.）」とします。

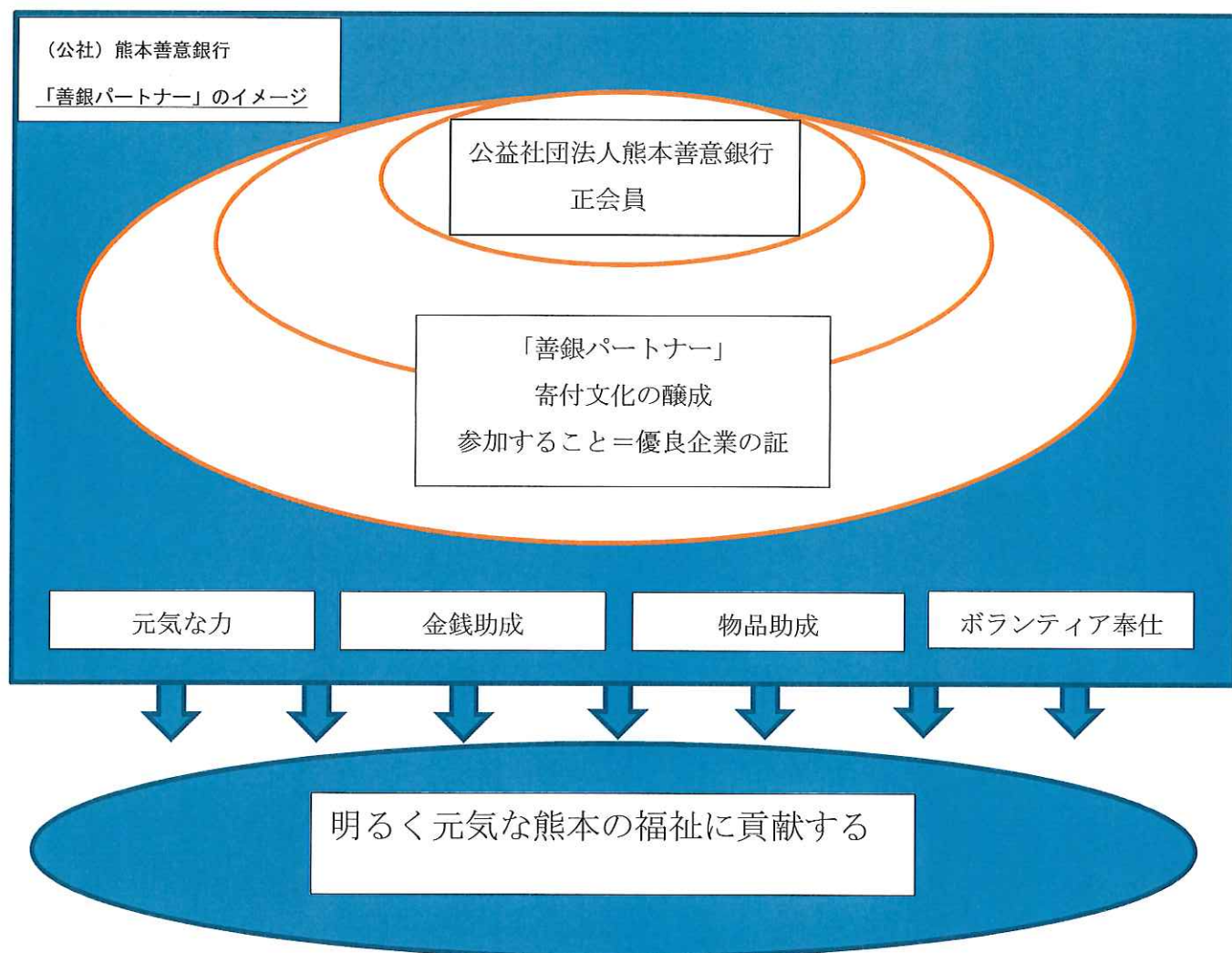
参加形態は下記の 4 通りがあります。総会における議決権はありません。

- ① 毎年協賛寄付金として 1 口 5 千円から参加する方法です。
- ② 寄付型自動販売機を設置し、売上の数パーセントを善銀に寄付する方法です。（自動販売機設置業者との契約が必要となります）

③ マッチングギフトによる寄付：

従業員と企業が一体となって行う社会貢献ツールです。例えば社員食堂のランチの一品から料金の一部を募金として寄付する。社内物品販売等の売上の一部を寄付する方法です。

④ パーセント支援による寄付：イベント等の収益金の数パーセントを寄付する方法です。



善銀パートナーに参加される企業・団体にとっては

- ① 地域社会福祉貢献の一環
- ② 長期的に見て企業のイメージアップ
- ③ 自社の企業文化の確立
- ④ 社員の質的向上を図る

——これらのお役に立つことが期待できます。

寄付金は法人税法の計算に基づいて損金算入できます。

② 熊本公徳会事業・障がい者福祉施設販売会（仮称）に共催

上通町の「びぶれす広場」にて、障がい者福祉施設が製造している製品の販売会を、一般財団法人熊本公徳会と共催で行います。4月、7月、10月、1月の年4回の開催を予定しており、障がい者福祉施設は無料で広場を利用し、物品販売を行えます。障がい者福祉施設の販売製品を紹介するのが狙いです。

③ 預託の拡充

企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページを携帯サイトでも見ることができます。さらにホームページを充実するなど多様な広報活動を行っていきます。新規会員は、前記PRの活用と機関紙、チラシ等で勧誘を図っていきます。また、クレジットカードのポイントを寄付に変換するサービスの推進に努めます。

④ ボランティア団体等の拡充

ボランティア希望者は、当行のホームページに登録、社会福祉施設などで活動出来るシステムとし、安定運用していきます。また、現在、29の団体・個人が年間を通じてボランティア奉仕活動をしています。活動の団体などは、その年齢構成が年々高くなってきており、今後は学生ボランティア登録の拡大に努めます。

平成27年度「物品の預託と払出し」計画

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(平成26年度実績参考)

預託する団体・人	預託(払出)物品	払出先
九州電保労青年委員会熊本支部	もち200個	あゆの里など2施設へ
九州ラーメン党	ラーメン100杯	上益城きぼうの家など4施設へ
熊本県茶商業協同組合	新茶13.5キロ	すずらんの杜など19施設へ
熊本そば名店会	新そば	龍山学苑へ
熊本城稻荷神社	果物・野菜など(御神饌)1箱	天草学園へ
高橋稻荷神社	果物・野菜など(御神饌)8箱	野ばらなど3施設へ
興農園	花の球根3000球	サポートハウス明星学園など20施設へ
中央ゴルフ倶楽部他2件	おもちゃ類 244点・ぬいぐるみ3袋	シオン園など10施設へ
千代の園酒造倶	清酒「百歳万歳」520本	平成26年度百歳到達者へ
倶童謡	招待券	三和荘ケアハウスなど7施設へ
明治安田生命熊本支社	生活用品など27箱	熊本乳児院など5施設へ
匿名	お茶19キロ	熊本天使園など5施設へ
池田知良他3件	米44キロ	はばたきホームなど3施設へ
太江田寿之	ミニトマト25箱	ゆうきの里など10施設へ
岡本キヨ子他1件	寝具5セット	夢・サポートなど2施設へ
片山瞭他8件	生活用品など14箱	真和館など8施設へ
相良スミ	じゃがいも120キロ	しらがね寮など9施設へ
〃	スイカ154玉	第二大江学園など13施設へ
〃	里芋200キロ	熊本ライトハウスなど23施設へ
島田朝海	楽器類5台	藤崎台童園へ
竹内司志	招待券15枚	熊本市母子寡婦福祉連合会へ
西山巖	洗剤10キロ	天草園など2施設へ
平野さゆり他2件	玄米160キロ	きらきら星レジデンスなど6施設へ
牧 寛	スイセンの球根60キロ	そよ風の里ほたるなど8施設へ
水間敏治	かぼちゃ56個	熊本菊陽学園など21施設へ
森 潔	マスク6000枚	阿蘇きぼうの家など4施設へ
米村芳雄	食品3箱	寿楽荘など3施設へ
匿名	サツマイモ3箱	いこいの里など3施設へ
匿名	みかん100キロ	力合つくし庵など4施設へ
匿名	石けん116個	支援センター銀河カレッジなど2施設へ
熊本市花園公民館講座生他9件	未使用はがき763枚	換金し福祉資金へ
中屋昭雄他10件	未使用切手198,275円分	換金し福祉資金へ
預託者数222件(預託回数延べ350件)	使用済み切手80キロ	換金し福祉資金へ
熊本善意銀行	毛布 150枚	火災見舞いとして50世帯へ

平成27年度「ボランティア活動」計画

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(平成26年度実績参考)

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
藤扇城北福祉会	演芸	198	特別養護老人ホーム和楽荘など
ボランティアグループ和会		181	特別養護老人ホーム菊香園など
菊陽さくら会		47	菊陽町デイサービス星の里など
熊本市お笑い愛好会		13	近見病院通所リハビリふれあいなど
宇都宮信夫		7	熊本市身体障害者福祉協会冬の集いなど
城西ひよっこ愛笑会		2	帯山中央病院など
ミュージックバンド絆ボランティア会	演奏	80	愛莉園など
スチールギター愛好会		13	シルバーピアブランド通りなど
スマイリー健&アロハ・スターハワイアンズ		4	くまもと長寿苑そよ風デイサービスなど
肥後三姉妹/からし蓮根		3	帯山在宅総合ケアセンター正直家など
リーフアンサンブルキャラバン		2	アリオオ長嶺南など
藤乃流由友会	日舞	91	菊陽台病院通所リハビリテーションなど
九州芳隣会		1	デイサービスセンターロイテの杜
坂東流 三継会		1	悠愛病院
フーちゃんとあごひげのおじさん	マジック	20	山ノ内小学校育成クラブなど
プードル雅子&piero		9	障がい者支援施設しょうぶの里など
熊本奇術クラブ		5	長嶺小校区第7町内子ども会など
グリーンローズフラクラブ	フラダンス	3	特別養護老人ホーム白川の里など
プア・ケニケニ		1	デイサービスすみれ
明日香会	大道芸	25	言語障害友の会「りんどう会」など
肥後ちょんかけごま保存会	伝承芸能	6	西合志中央小学校にいじろクラブなど
ロゴス腹話術研究会 熊本支部	腹話術	5	熊本市西原公園児童館など
ハレルヤ笑いヨガくらぶ	健康体操	4	特別養護老人ホームリバーサイド熊本など
柏原幹治	相撲甚句	4	デイサービスセンター福まる道場など
山部美郷	津軽三味線	1	イエズスの聖心病院
九州電保労青年委員会熊本支部	高所作業	1	熊本天使園
ボランティア坊さん(橋本敏明)	講話	48	ケアハウスハーモニーなど
山村久子	使用済み切手整理	12	換金のための仕分け作業
坂井洋子		11	
合計		798	